

再確認 ①

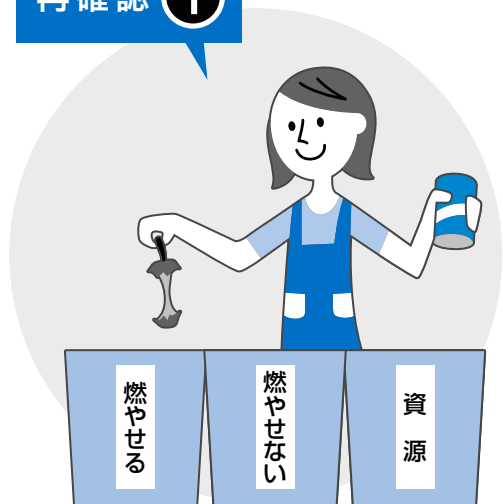
資源になるものを廃棄ごみにしていませんか？

分別の徹底で ごみを資源に！

減量効果 ★★★★★☆ お手軽度 ★★★★★★

必要のない物を「買わない」、無駄なく「使い切る」、物を「繰り返し使う」ことが廃棄ごみ減量の基本ですが、分別の徹底も効果的。ごみを捨てる時に、「この分別は正しいかな」と確かめることが大切です。

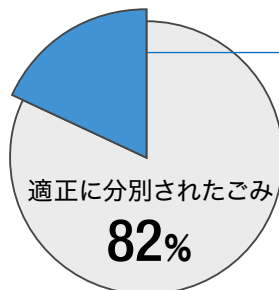
【詳細】 環境事業部業務課 ☎211-2916



家庭ごみのうち 2割が分別を間違ったごみ

昨年度、家庭から出された燃やせるごみ、燃やせないごみのうち、18%は分別が違ってました。その重量は約48,630トン。これらはリサイクルに回すことができず、全て焼却か埋め立てで処分するため、余計な費用が掛かってしまいます。

■ 燃やせるごみ、燃やせないごみの
適正・不適正排出の割合(24年度)



間違った分別をして
出されたごみ

18%

II

年間およそ

48,630トン

要チェック!



確認しよう！ 間違いやすい分別

有料ごみの減量につながる例を紹介します

筒型乾電池、スプレー缶・カセットボンベ

燃やせないごみの日に

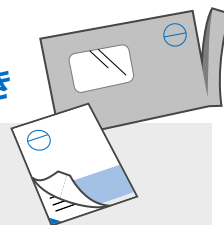
- 半透明の別袋で出す
- × 黄色の指定袋で出す



スプレー缶やカセットボンベ、乾電池は、燃やせないごみの日に無料で収集しています。有料の指定袋に入れる必要はありません。

窓の付いた封筒・圧着式(のり付き)はがき

- 雑がみ
- × 燃やせるごみ



封筒にセロハン、はがきにのりが付いていても、そのまま雑がみとして出すことができます。

プラスチック製のケースやボトル

♻️マークで判断しよう

- あれば ▶ 容器包装プラスチック
- なければ ▶ 燃やせるごみ



「プラ」マークがあるものは「容器包装プラスチック」として無料で収集、マークがないものは燃やせるごみとして有料で収集します。

容器包装プラスチックの選別を行う方に聞きました！

1日100トンほどを主に手作業で選別しています。分別違いのごみが混ざると作業が遅れるだけでなく、リサイクルするプラスチックの品質も低下してしまいます。分別のルールを守る意識をさらに高めてもらえるとうれしいですね。



中沼プラスチック選別センター 柳本 亮志 所長



◀選別ライン。約20人の作業員が、流れてくる大量の容器包装プラスチックの中から分別違いのごみを取り除く